市長への提案　受付実績　提案・回答

令和７年 10 月から令和７年 12 月までに皆様からいただいた提案等は 25 件でした。

令和７年 10 月～令和７年 12 月受付分

区分	件数
観光産業	８件
都市基盤	０件
教育文化	１件
環境衛生	（８件）
情報通信	０件
職員・窓口	５件
福祉	２件
防災・安心	１件
まちづくり・住民協働	４件
その他	４件
提案・要望・苦情でないもの	０件
合計	25 件

※（）内は他の提案と重複するもの

皆様からお寄せいただきました提案のうち、令和７年 10 月から 12 月までに文書で回答した案件を、個人情報の取扱いに十分留意した上でお知らせします。

ただし、企業等の営業活動、お礼や私的なもの、誹謗中傷、個人が特定できるものなど、公開することが適当でないと判断したものは除いています。

寄せられた皆様からの提案は、市長が目を通し、竹原市のより良いまちづくりに役立たせるようにしてまいります。

○観光産業

標題	大久野島のウサギの無断持ち出しについて
提案の趣旨	環境省が大久野島のウサギ達の「持ち出し」について「法的に問題はない」という姿勢を取っているという情報が拡散されている。しかし、大久野島には「ウサギを持ち出さない」というルールがあり、それを守ってもらおうとする大久野島のボランティアと持ち出そうとする来島者との間でトラブルになる可能性が高まっている。再度ルールについて内容や周知方法を検討していただきたい。
回答	大久野島には、自然散策や平和学習、ウサギとのふれあいなどを目的に、多くの観光客に訪れていただいておりますが、ウサギへの不適切な行動等により様々な課題が生じております。 そのため、島の管理者である環境省を中心に、休暇村大久野島や竹原市に加え、交通事業者を含む関連事業者、地域住民代表者、ウサギの愛好家等を交えた協議の場を設け、大久野島の現状や課題等についての情報共有を図るとともに、課題解決に向けた対応策を検討しており、ご承知のように、これまでの取

	組として、「ウサギを持ち出さない」等のルールをつくり、ポスターやリーフレットを作成し、周知・啓発を実施しているところです。 　メールで頂いたとおり、大久野島のウサギの持ち出しについて、明確に規制する法律や条例はありませんが、そのような規制がない中で、喫緊の対応として、多くの方々の意見を反映して「ウサギを持ち出さない」というルールがつくられております。 　国の法令の関係もあり、市の条例において規制することはできないため、引き続き、「ウサギを持ち出さない」等のルールのもと、適切な対応をお願いし、大久野島及び竹原を訪れる皆様に「行ってみたい」「また訪れたい」と思っていただけるよう様々な取組を関係機関と連携し進めてまいりますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。
担当課	産業振興課、地域づくり課

〇教育文化

標題	木村城址進入路の橋梁の劣化について
提案の趣旨	木村城址の進入路の橋梁の劣化が著しく進行しており、崩壊が危惧される状態にある。小学生や一般の方も通行しているため、通行中に崩落したら人命にも係わることが懸念される。 　早急に対応していただきたい。
回答	御指摘いただきました木村城址進入路の橋梁の劣化について、現地確認および調査を実施いたしました。 　調査の結果、当該橋梁は平成４年度に整備されたものであり、木造の橋梁の表面にコンクリート舗装を施した構造ですが、経年に伴い木製部分が腐朽し、著しく劣化していることが判明しました。このままの状態では通行の安全が確保できないことから、当面の間は安全確保を最優先に考え、当該橋梁の通行を禁止とすることとしました。また、代替の通行手段の設置についても合わせて検討を進めてまいります。 　今後も引き続き、本市の貴重な文化財である木村城跡の保存に努めてまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。
担当課	文化生涯学習課

〇職員・窓口

標題	思いやり駐車場について
提案の趣旨	竹原市で管理している思いやり駐車場に竹原市と書かれた車が止まっていた。市で使う車は職員駐車場か、近くの駐車場にとめて、思いやり駐車場は必要な人たちのためにあけておいてほしい。
回答	この度は、市の施設の利用に際し、多大なご不便やご不快な思いをおかけしたことに対し、深くお詫び申し上げます。 思いやり駐車場とは、高齢者、障がい者、妊産婦など、移動に配慮が必要な方が安心して外出できるよう、建物の入口に近い場所に設置された優先駐車場であります。 荷物搬出のため職員が一時的に公用車を駐車したものでありますが、思いやり駐車場の趣旨からは絶対にあってはならないことであり、対象職員のみでなく当該施設に勤務する職員に対し指導するとともに、全職員に対し周知徹底してまいります。 今回の事案を重く受け止め、今後においては、適正な駐車にに努めてまいりますので、ご理解いたご理解いただきますようお願い申し上げます。
担当課	総務課

〇まちづくり住民協働

標題	呉線と竹原市の会社誘致
提案の趣旨	提案１　呉線について 呉線を高規格線とし、電車も貨客混載にするのはどうか。災害時山陽本線不通になった場合呉線経由で電車走らせることもできる。 提案２　企業誘致について 竹原市は企業誘致したらいいと思います。 販促業、サービス業観光活かした仕事や印刷業等などを企業誘致することで正社員雇用が生まれるため、企業誘致に力を入れるのはどうか。 提案３　公立の職業に特化した学校について 公立の専門学校や短期大学校などの職業に特化した学校を設

	立するのはどうか。
回答	提案１　呉線について 　JR 呉線における、高規格線化および災害時の代替ルートとしての活用ならびに貨客混載運行の導入についてですが、輸送力強化や高速化、災害時のリスク分散等、様々な利点があると考えます。 　しかしながら、JR 呉線は海岸線や山間部を通る区間が多く、また、土砂災害警戒区域を通る区間もあり、地形的に災害リスクが高い路線であるため、高規格線化等を進めるには多大な費用と工期を要することになり、現状の利用者数や地域の交通需要、周辺環境への影響等を総合的かつ慎重に検討していく必要があります。 提案２　企業誘致について 　本市の企業誘致につきましては、地域の産業振興及び雇用創出等による地域経済の活性化を目的とし、これまで、工場立地等助成金やサテライトオフィス等誘致促進助成金など各種助成金による支援のほか、広島県や民間企業等と連携した物件紹介、進出意向のある企業への訪問・誘致活動、既存企業からの情報収集などに取り組んでまいりました。 　現在、企業側が労働力と土地を求めて工場等を建設することに対して支援する従来型の「モノの誘致」とあわせて、他地域から新たな労働力や機能を確保する「ヒト・機能の誘致」が必要であると考え、本社機能やサテライトオフィスなどのオフィス誘致にも取り組んでいるところであります。 　本市といたしましては、市内への更なる企業誘致、雇用の確保を推進するため、今後におきましてもＳＮＳ等の媒体や様々な場面において各種助成制度の周知に努めるとともに、民間遊休地をはじめとした市内への企業誘致活動やサテライトオフィス、スタートアップの誘致活動など、広島県をはじめとする関係機関と連携しながら取り組んでまいりますので、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。 提案３　公立の職業に特化した学校について 　当市では、人口減少が進行し、若者の流出や地域経済の活性化が大きな課題となっております。その中で、地域に根ざした

	教育や職業教育の充実は、教育環境の充実だけでなく、人口減少対策としても重要な取組の一つと捉えております。 　しかしながら、公立の専門学校や短期大学の設置には多額の財政負担が伴い、施設の運営や教員の確保、カリキュラムの充実など多方面にわたる準備が必要となるため、地域のニーズを的確に把握しつつ、高等教育機関や職業訓練施設等との連携強化や、コミュニティ・スクールの充実等、多様な学びの機会の拡充に取り組んでまいりたいと考えております。 　今後とも、地域の皆さまの声を大切にし、持続可能なまちづくりに向け、教育環境の充実を図ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
担当課	企画政策課、産業振興課